

基本施策名	57	伊賀市としての一体感を生み出す	評価責任者 (基本施策主管課長)	企画財政部秘書広報課長 藤岡 淳次
生活課題	合併前の旧市町村区域にとらわれず、市が一体となっている		生活課題に対する満足度 H27目標値	54.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		基本目標	共生・交流、分権・自治
		政策	一体感を生み出す市民と行政の協働のしくみ
①	市民意識調査結果	<p>意識調査によると、必要度は平均であるが満足度はやや低くなっている。広報及び行政情報番組の内容の充実が必要である。</p> <p>参考 満足度(満足意識) 23.9 % 必要度 71.7 %</p>	
③	基本施策の現状と課題	<p>広報は月2回発行しており、記事は各課からのお知らせが主となっている。行政情報番組(ウィークリー伊賀市)は「できごと」「特集」「お知らせ」から構成した30分番組を1週間放送しているが、各年代層ごとに興味のある情報を分かりやすく伝えられるよう番組を構成する必要がある。</p>	
④	基本施策の意図、今後の展望	<p>平易な文章表現を用い、図、イラスト、写真等を併用して、市民の皆様に分かりやすく親しまれる紙面づくりをめざす。行政情報番組については、行政情報番組検討委員会の意見に基づき、番組作成スタッフ会議を充実させ、市民に親しまれる番組をめざす。</p>	

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
1 広報発行回数/月	目標	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	毎月2回発行(但し1月のみ1回)
	実績	回	2.0	2.0				
	達成率	%	100.0	100.0				
2 ケーブルテレビ加入世帯率	目標	%	64.8	66.0	68.0	66.5	68.0	伊賀市の全世帯数39,530世帯(H24.3月末)
	実績	%	64.8	67.1				
	達成率	%	100.0	101.7				
	目標							
	実績							
	達成率	%						
	目標							
	実績							
	達成率	%						
	目標							
	実績							
	達成率	%						

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	I D	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1	企画財政部秘書広報課	39	広報作成等業務	無	27,911	30,197	30,197	1
2	企画財政部秘書広報課	40	行政情報番組制作放送事業	無	76,388	72,185	72,185	2
3	企画財政部秘書広報課	115	ケーブルテレビ加入促進事業(ケーブルテレビ維持管理費軽減事業)	無	10,792	10,485	10,485	3
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続 紙)								
事業費合計					115,091	112,867	112,867	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	伊賀市としての一体感を生み出すため、市民に対する情報提供や市民と行政の間における活発な意見交換を行うための広報媒体として、多くの市民に配布及び加入していただくことが必要である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	広報紙や行政情報番組を通して広く市民に情報を提供し、市政への関心を高め市民参画の実現に向けた紙面や番組制作に取り組む。
3 役割分担の妥当性	行政情報番組については、ケーブルテレビ会社からも加入促進のPRをしてもらう。
4 総合評価(今後の方向性、事業の見直しについて等)	広報紙の配布について、自治会組織の未加入世帯について申し出により個別に送付しているが、配布率を高めるため市ホームページや広報いが市等で周知する。行政情報番組については、各年代層ごとに興味のある情報をわかりやすく放送するため、行政情報番組検討委員会の意見を聞くとともに、番組制作スタッフ会議を重ね、番組の充実を図る。